

8/11

Mountain Day

8月11日は  
山の日です

感じよう、山の恵み、森の恵み

# 飛騨の国有林



晩秋を迎えた天然生林（大瀬戸国有林）



国民の森林・国有林

林野庁 中部森林管理局 飛騨森林管理署

# 国有林の現況

飛騨森林管理署は、東に日本の屋根といわれる飛騨山脈の岐阜県北部山岳地域と御嶽山、西に白山といった3千m級の山々に囲まれ、宮・庄川流域を森林計画区として2市1村に広がる約12万ヘクタールの森林（国有林）を管理しており、その内訳はブナやミズナラの天然林が5割、カラマツ・スギ・ヒノキなどの人工林が3割、その他山岳地などが2割となっています。

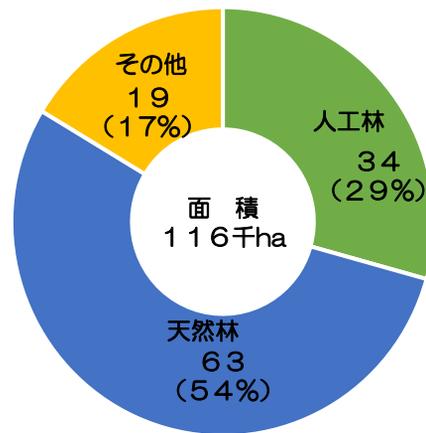
この地域の森林は、富山県、岐阜県、愛知県の水源林としての機能や山地災害防止などの重要な役割を担っています。

また、飛騨山脈や御嶽山、白山などの山岳地域は、貴重な動植物の生息地域であり、観光や登山など森林レクリエーションの場としても広く利用されています。

## <管内の市町村>

「高山市」は日本一の面積と飛騨山脈や高山祭、「飛騨市」は天生(あも)湿原や起こし太鼓、「白川村」は霊峰白山と世界文化遺産の合掌造りが有名です。また、高山祭、古川祭はユネスコ無形文化遺産に登録されています。

## 国有林の面積（千ha）



# 森林の取扱い

国有林では、森林の役割に応じて「水源涵養」「山地災害防止」「自然維持」「森林空間利用」「快適環境形成」の大きく5つの機能・タイプに分け、森林を管理・経営しています。（当署には、快適環境形成タイプの該当箇所はありません。）

## 水源涵養タイプ

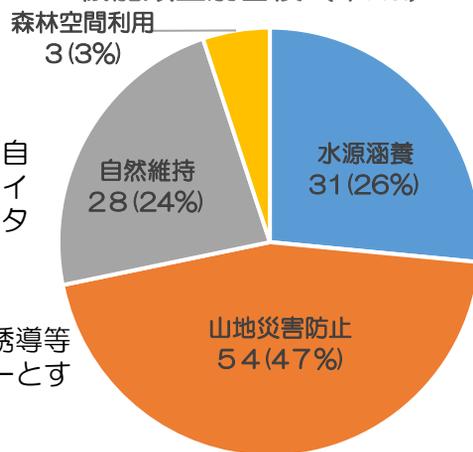
人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮し、水源のかん養の発揮を第一とすべき森林

### <水源林>

地域住民の生活用水や農業用水を供給する「水源」を確保するため国有林の8割が「水源かん養保安林」に指定されています。

洪水調節・発電・利水のため、庄川流域には御母衣ダム、飛騨川の上流域には高根ダムなどがあり、国有林はダムに水を供給する水源林となっています。

## 機能類型別面積（千ha）



## 山地災害防止タイプ

根や表土の保全、下層植生の発達した森林を維持し、土砂の流出・崩壊、落石等の山地災害を防ぐ機能の発揮を第一とすべき森林

### <治山事業>

飛騨山脈、御嶽山、白山などの山岳地帯には崩壊地や荒廃渓流が多くあり、集中豪雨などによる土砂災害を未然に防ぎ、地域住民の安全を確保するため、治山工事や森林整備を行っています。



山腹工の施工事例  
(白川村 大白川国有林)



溪間工の施工事例  
(高山市 福地国有林)

# 森林空間利用タイプ

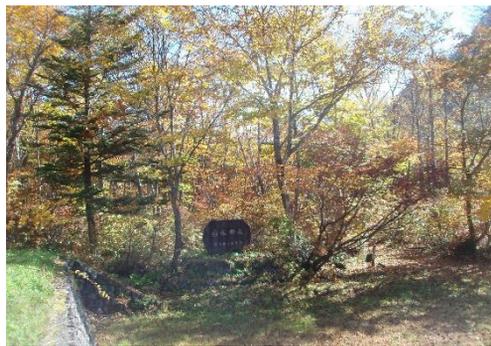
健康・文化・教育的利用の形態に応じた多数な森林を維持・造成し、保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林及び良好な自然環境を保持する森林

## <レクリエーションの森>

国有林では、優れた景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」に指定しています。「レクリエーションの森」は、①自然休養林、②自然観察教育林、③森林スポーツ林、④野外スポーツ地域、⑤風致探勝林等の5つに分類されます。管内には、ハイキングやキャンプができる自然休養林として飛騨白山白川郷（白川村）や御岳（高山市高根町）、湿原植生などが見られる自然観察教育林として天生（あもう）（飛騨市）や乗鞍（高山市）、スキー場などの野外スポーツ地域として数河流葉（すごうながれは）（飛騨市）があります。



天生自然観察教育林（飛騨市）



飛騨白山白川郷自然観察教育林（白川村）

## <森林ボランティア>

国民参加による森林づくりの活動や登山道整備活動で地元企業の社会貢献やボランティアの場として利用されています。

## <森林環境教育>

栃尾小学校「遊々の森」、荘川小学校の森林教室など、森林を活用した教育の支援のほか、学生の職場体験などを受け入れています。



地元団体によるボランティア（除草）作業



栃尾小学校による森林教室（治山工事見学）

# 自然維持タイプ

希少な生物の生育・生息に適した森林を維持し原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など、属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林

## <貴重な生態系の維持>

原生的な自然環境を保全するため「森林生態系保護地域」（北アルプス金木戸川・高瀬川源流部4,452ha、白山7,764ha）、野生動植物の移動経路などを確保するため「白山山系緑の回廊」（17,000ha）を設定しています。

「多様な活動の森」として（高山市五色ヶ原地区）では自然保護と利用の両立を図るためガイド同伴による自然散策が行われています。

さらに、生態系保護活動では、関係機関と合同でのパトロール、モニタリング調査などを行っています。



希少個体群保護林  
大白川ドロノキ遺伝資源（白川村）

# 令和6年度の取組

公益重視の管理経営の一層の推進のほか、森林・林業の再生への貢献、山村地域の振興と森林の総合利用などを柱として「国民の森林(もり)」となるよう管理経営に取り組みます。

森林の公益的機能を発揮させるため計画的な間伐の推進、多様な森林への誘導、効率的で安全な素材生産作業システムの構築、造林コスト低減に向けた試み、防護柵の設置等によるニホンシカ被害対策、通行の安全を確保するための林道整備、集中豪雨等に対する山地防災力を高める荒廃山地の復旧対策等を実施します。

また、民有林と連携した森林施業として「高山市一色・山中山地域森林整備協定」（平成23年3月協定締結）ほか、地域の林業関係者と作業の効率化を目指す現地検討会等の開催や県や市町村行政と連携した民有林支援に取り組みます。

さらに、レクリエーションの森や多様な活動の森など、国有林を通じた地域振興についても引き続き取組を進めます。



植栽地に出現したニホンシカと忌避剤散布作業（高山市）



主伐（皆伐）箇所における集材作業



下草刈り作業を終えた造林地

# 令和6年度主要事業量

伐採量（立木材積）

単位:m3

立木販売・保育間伐ほか			製品生産資材			計		
主伐	間伐	計	主伐	間伐	計	主伐	間伐	計
51,864	72,933	124,797	13,245	33,958	47,203	65,109	106,891	172,000

製品（丸太）販売予定量 単位：m3

委託販売	システム販売	山元販売	当年度生産量
1,000	17,580	12,020	30,600

林道工事

新設	改良	災害復旧
—	1箇所(25m)	1箇所(26m)

更新及び保育量

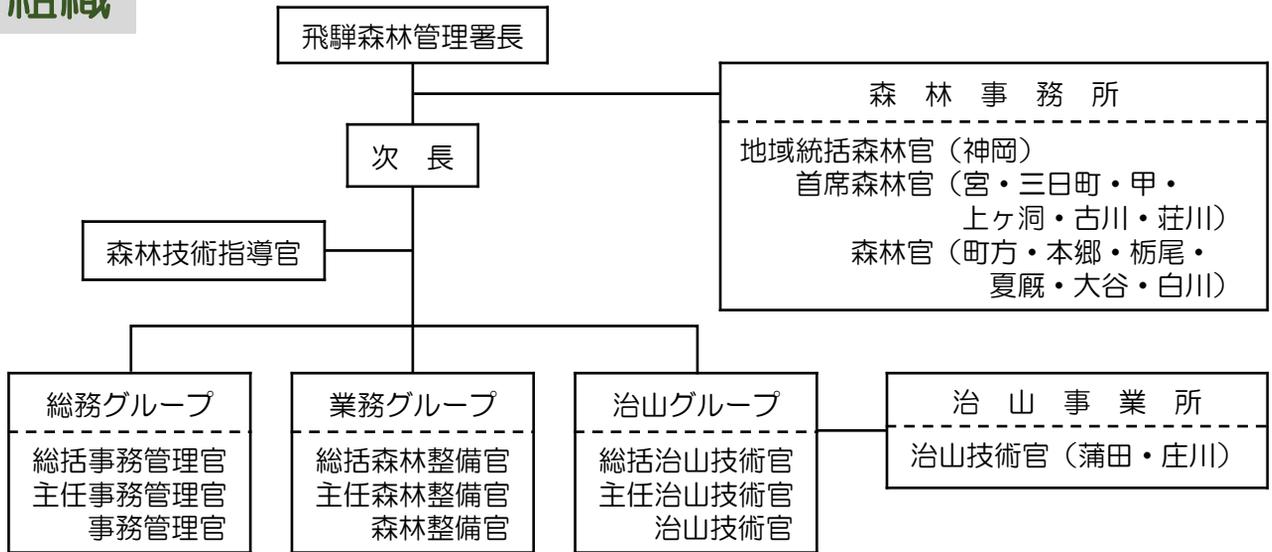
単位：ha

地 拵	植付(新植)	下 刈	保育間伐等
28	24	183	40

治山工事

山腹工	溪間工
3箇所	4基

# 組織



【職員数】

令和6年4月1日現在

本署(非常勤含)	森林事務所等	計
28	15	43

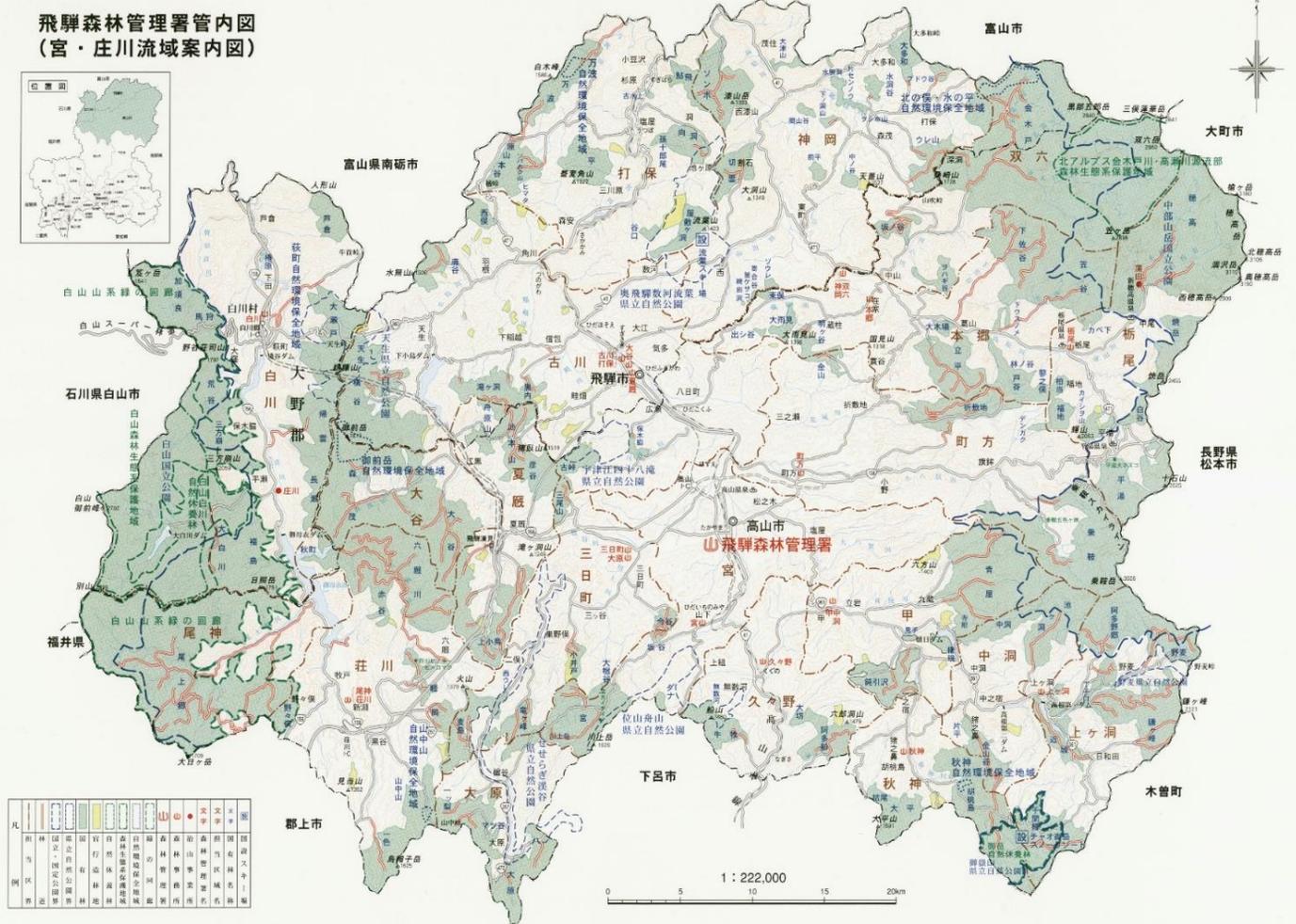
## 飛騨森林管理署の歴史

- 明治19(1886)年 林区署制定により岐阜大林区署高山派出所として開庁
- 大正13(1924)年 官制が改められ大阪営林局・高山営林署として改称
- 昭和 7(1932)年 古川事業区を分離して古川営林署を設置
- // 22(1947)年 林政統一により名古屋営林局・高山第一営林署を設置  
同時に高山第二(久々野)・船津(神岡)・古川・荘川の各営林署を設置
- // 23(1948)年 高山第一、高山第二をそれぞれ高山営林署、久々野営林署に改称
- 平成 4(1992)年 高山営林署と久々野営林署を統合。久々野・高山営林署と改称
- // 10(1998)年 古川営林署を神岡営林署に統合。古川森林管理センターに改称
- // 11(1999)年 組織再編により神岡営林署を飛騨森林管理署に統合。神岡事務所、  
に改称。同時に荘川営林署は岐阜森林管理署へ統合。荘川事務所に改称
- // 13(2001)年 神岡事務所を廃止。飛騨森林管理署に統合
- // 16(2005)年 岐阜森林管理署荘川事務所管轄の宮・庄川森林計画区を編入
- // 25(2013)年 国有林野事業が特別会計から一般会計へ移行



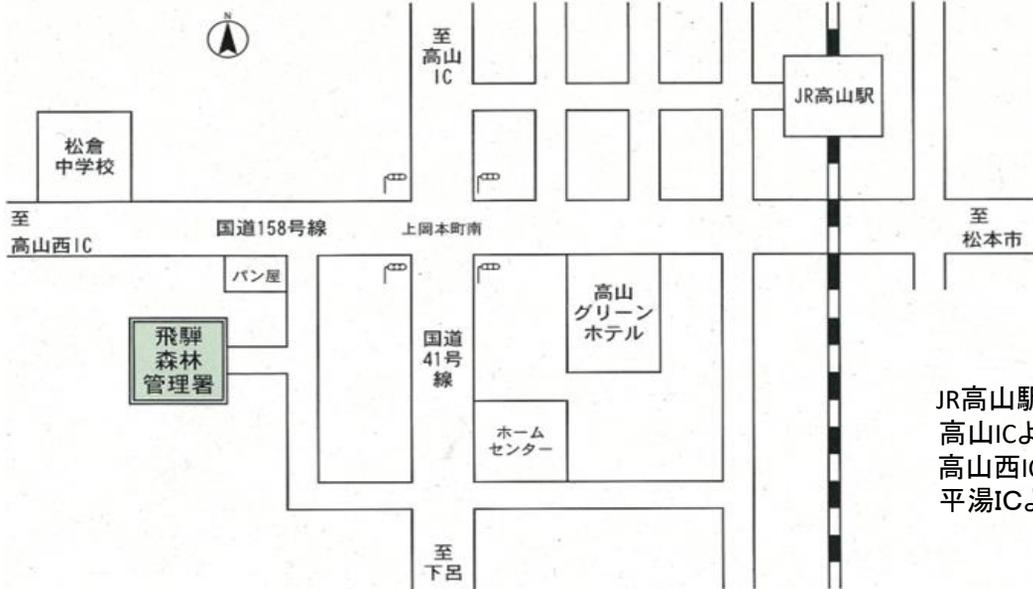
飛騨森林管理署庁舎

飛騨森林管理署管内図  
(宮・庄川流域案内図)



凡	河川	湖沼	森林	山	市	町	村	郡	県
凡	河川	湖沼	森林	山	市	町	村	郡	県
凡	河川	湖沼	森林	山	市	町	村	郡	県

飛騨森林管理署へのアクセス



JR高山駅より 1.3km  
 高山ICより 4.8km  
 高山西ICより 8.9km  
 平湯ICより 35.8km

**飛騨森林管理署**  
 〒506-0031 岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3  
 電話 0577-32-0101 E-mail: c\_hida@maff.go.jp  
<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/hida/>